

# Cisco Business 250/350シリーズスイッチでのVLANの設定

## 目的

トラフィックの分割とセキュリティが優先されるシナリオでは、VLANを作成して、トラフィックの分離によってネットワークのセキュリティを強化できます。VLANに属するユーザだけがVLAN内のデータトラフィックにアクセスして操作できます。これは、複数のサブネットがデバイスのアップリンクを通過する必要があるシナリオでも必要です。この記事では、Cisco Business 250および350シリーズスイッチでVLANを設定する方法について説明します。

## 適用可能なデバイス | [Software Version]

- CBS250 ([データシート](#))([アドミニストレーションガイド](#)) | 3.1.1.7 ( [最新版をダウンロード](#) )
- CBS350([データシート](#))([アドミニストレーションガイド](#)) | 3.1.1.7([最新バージョンをダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#))([アドミニストレーションガイド](#)) | 3.1.1.7 ( [最新版をダウンロード](#) )
- CBS350-4X([データシート](#))([アドミニストレーションガイド](#)) | 3.1.1.7([最新バージョンをダウンロード](#))

## VLANの設定

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、VLAN Management > VLAN Settingsの順に選択します。

# ▼ VLAN Management

## VLAN Settings

ステップ 2 : VLANを追加するには、プラスアイコンをクリックします。Add VLANウィンドウが表示されます。

### VLAN Settings

#### VLAN Table



<input type="checkbox"/>	VLAN ID	VLAN Name	Originators	VLAN Interface State	Link Status SNMP Traps
<input type="checkbox"/>	1		Default	Enabled	Enabled

ステップ 3 : VLANを作成するには、2つの方法があります。単一のVLANを作成することも、新しいVLANの範囲を設定することもできます。

単一のVLANを作成するには、VLANオプションボタンをクリックします。次の情報を入力します。

- VLAN ID : 新しいVLANのID。
- VLAN Name : 新しいVLANの名前。

# Add VLAN

1

VLAN

2

 VLAN ID:

5

(Range: 2 - 4094)

VLAN Name:

Test-voice

(10/32 characters used)

ステップ 4 : 新しいVLAN用に次のフィールドを追加します。

- VLAN Interface State:VLANを有効にします。
- Link Status SNMP Traps:SNMPトラップのリンクステータス生成を有効にする場合に選択します。

# Add VLAN

VLAN

 VLAN ID:

5

(Range: 2 - 4094)

VLAN Name:

Test-voice

(10/32 characters used)

VLAN Interface State:  Enable

Link Status SNMP Traps:  Enable

ステップ 5 : VLANの範囲を作成するには、Rangeオプションボタンをクリックします。次の情報を入力します。

- VLAN範囲 : 作成するVLANの数に応じた範囲。たとえば、10個のVLANを作成する場合は、ニーズに合った範囲 (この場合は10 ~ 20) を入力します

# Add VLAN

VLAN

\* VLAN ID:  (Range: 2 - 4094)

VLAN Name:  (10/32 characters used)

VLAN Interface State:  Enable

Link Status SNMP Traps:  Enable

Range

\* VLAN Range:  -  (Range: 2 - 4094)

手順 6 : Applyをクリックして、設定を保存します。

Add VLAN

x

VLAN

\* VLAN ID:  (Range: 2 - 4094)

VLAN Name:  (0/32 characters used)

VLAN Interface State:  Enable

Link Status SNMP Traps:  Enable

Range

\* VLAN Range:  -  (Range: 2 - 4094)

Apply

Close

## VLANへのポートの設定

VLANを作成したら、必要なポートを適切なVLANに割り当てる必要があります。次の手順では、Cisco Business 250/350シリーズスイッチのVLANにポートを割り当てる方法について説明します。

。

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、VLAN Management > Port to VLANの順に選択します。

## ▼ VLAN Management

1

VLAN Settings

Interface Settings

Port to VLAN

2

ステップ 2 : Filterフィールドで、VLAN ID equals toド롭ダウンリストから適切なVLANを選択します。

## Port to VLAN

### VLAN Membership Table

Filter

*VLAN ID*

equals to

10 ▾

AND *Interface Type* equals to

Port ▾

Go

ステップ 3 : Filterフィールドで、Interface Type equals toドロップダウンリストから、VLANに追加するインターフェイスのタイプを選択します。使用可能なオプションは、ポート(LAG)またはLAG (リンクアグリゲーショングループ) のいずれかです。

## Port to VLAN

### VLAN Membership Table

Filter

*VLAN ID*

equals to

10 ▾

AND *Interface Type* equals to

Port ▾

Go

ステップ 4 : [Go] をクリックします。

# Port to VLAN

## VLAN Membership Table

Filter

*VLAN ID*

equals to

10 ▾

AND

*Interface Type*

equals to

Port ▾

Go

ステップ5：インターフェイスごとに、ドロップダウンメニューからメンバーシップタイプを選択します。使用可能なオプションは次のとおりです。

- **Forbidden**：インターフェイスは、GVRP登録からさえもVLANに参加できません。ポートがその他のVLANのメンバーでない場合、ポートに対してこのオプションを有効にすると、このポートは、内部VLAN 4095（予約VID）のポートになります。
- **Excluded**：インターフェイスは現在VLANのメンバーではありません。これは、VLANが新しく作成されたときのすべてのポートとLAGのデフォルトです。
- **Tagged**：インターフェイスはVLANのタグ付きメンバーです。
- **Untagged**：インターフェイスはVLANのタグなしメンバです。VLANのフレームはインターフェイスVLANにタグなしで送信されます。
- **Multicast TV VLAN**：このオプションは、同じデータVLANに属していないユーザへのマルチキャスト伝送を有効にします。異なるVLAN IDでスイッチに接続されているユーザは、同じマルチキャストVLAN IDにポートを参加させると、同じマルチキャストストリームを共有できます。

## VLAN Membership Table

Filter *VLAN ID* equals to

AND *Interface Type* equals to

Go

Interface Name	VLAN Mode	Membership Type	PVID
GE1	General	Excluded <input type="text" value="v"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
GE2	Access	Excluded Tagged	<input type="checkbox"/>
GE3	Access	Untagged Forbidden	<input type="checkbox"/>

注：ドロップダウンメニューのオプションは、ポートのロールによって異なります。

ステップ6: ( オプション ) Port VLAN Identifier(PVID)は、インターフェイスのデフォルトVLANを識別します。チェックボックスをオンにして、インターフェイスのPVIDをVLANのVIDに設定します。PVID はポート単位の設定です。

## VLAN Membership Table

Filter *VLAN ID* equals to

AND *Interface Type* equals to

Interface Name	VLAN Mode	Membership Type	PVID
GE1	General	<input type="text" value="Excluded"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
GE2	Access	<input type="text" value="Tagged"/>	<input type="checkbox"/>
GE3	Access	<input type="text" value="Forbidden"/>	<input type="checkbox"/>

手順 7 : Applyをクリックして、選択したVLANとインターフェイスタイプの設定を保存します。

# Port to VLAN

Apply

Cancel

## VLAN Membership Table

Filter *VLAN ID* equals to 1 ▾

AND *Interface Type* equals to Port ▾

Go

Interface Name	VLAN Mode	Membership Type	PVID
GE1	General	Excluded ▾	<input checked="" type="checkbox"/>
GE2	Access	Untagged ▾	<input checked="" type="checkbox"/>

これで、Cisco Business 250または350シリーズスイッチでVLANとポートをVLANに設定する手順を学習しました。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。